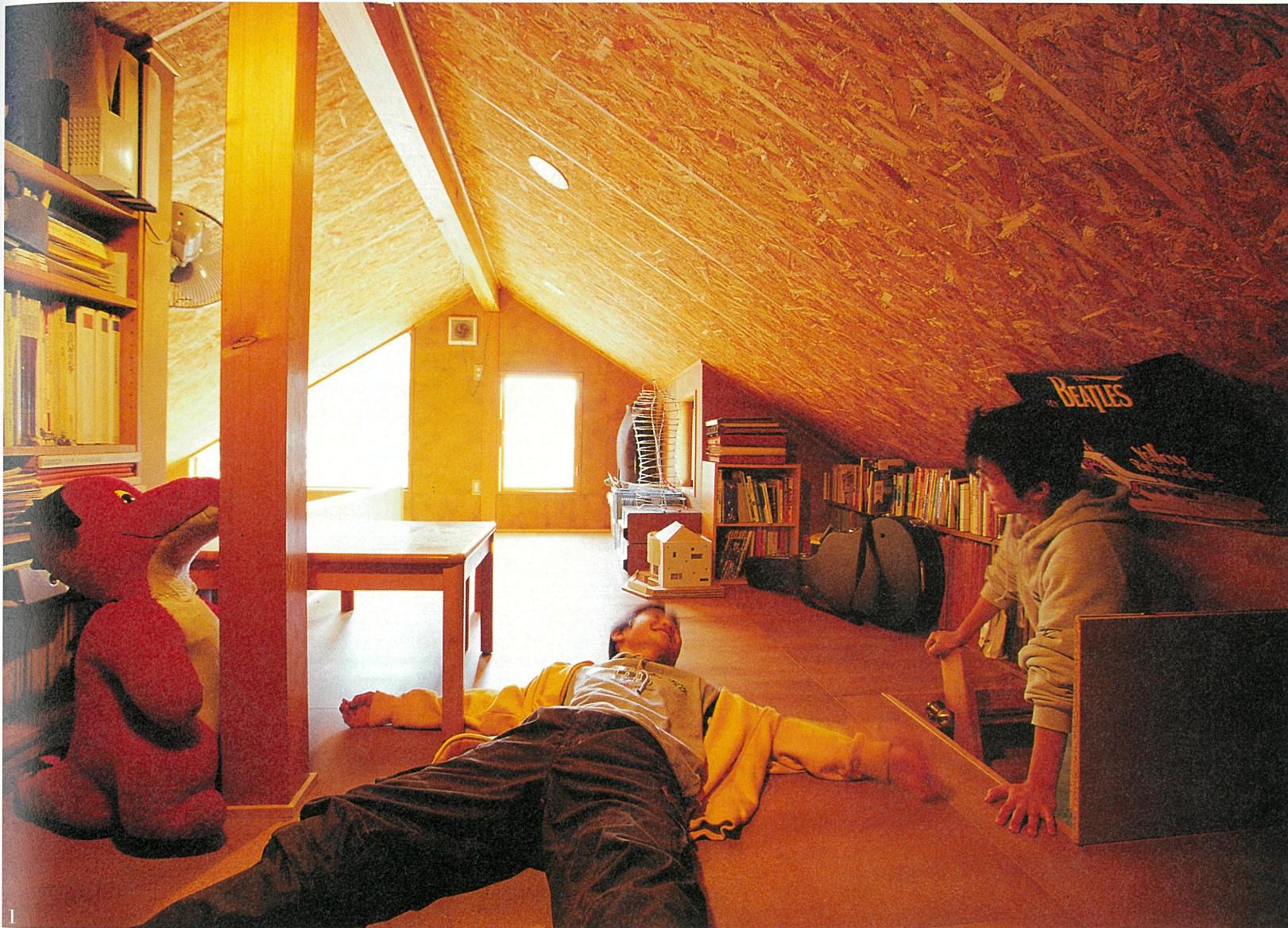


子どもに住まいの大切さを考えさせるには？

ゆうたろうくん・ようすけくんのいえ

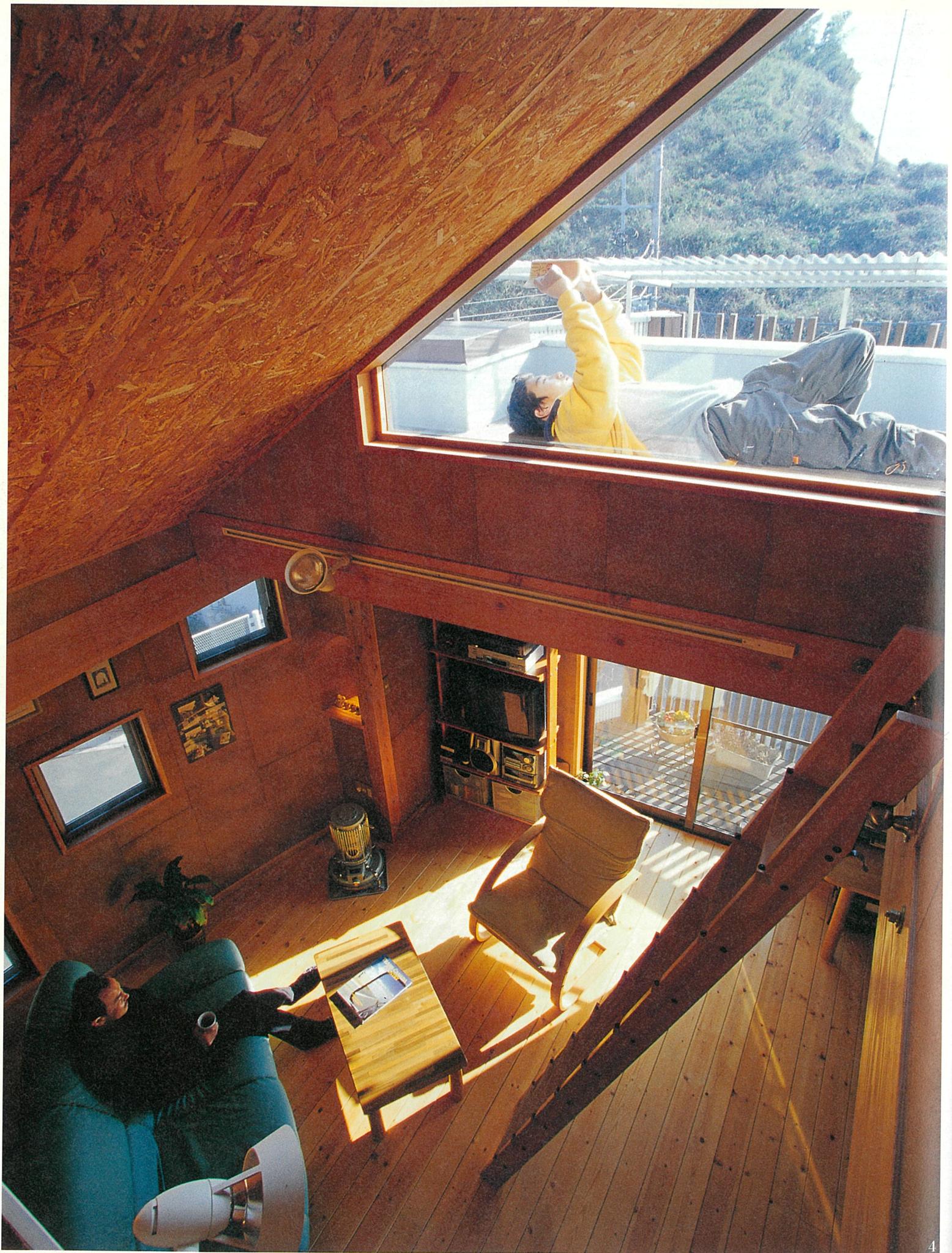
MAKE



ぼくたちの住む家ってどんなところだろう？
もし、望みがかなえば大切に住みたいと思う。
ゆうたろうくんとようすけくんのいえは、
タイルや格子、土間…2人のアイデアでいっぱい。
小屋裏も屋上も自由に使えるぼくらの遊び場。

むらじたけお
設計 連健夫建築研究室 撮影 傍島利浩

- 1 小屋裏へは兄弟それぞれの部屋、リビングからはしごを使って上がる。兄弟の第2のプレイスペースで、奥の扉から屋上へ。
- 2 奥の子供部屋に行くには必ずリビングを通りなければいけないので、親子のコミュニケーションを円滑にことができる。
- 3 勉強をする場所は子供部屋とは限らない。バルコニーのほうがはかかるかも。格子があるため西日が差し込んで眩しくない。
- 4 リビングから屋上、小屋裏…家にいる親子がお互いの気配を感じられるプラン。屋上の様子がわかる開口部は採光の役割も。

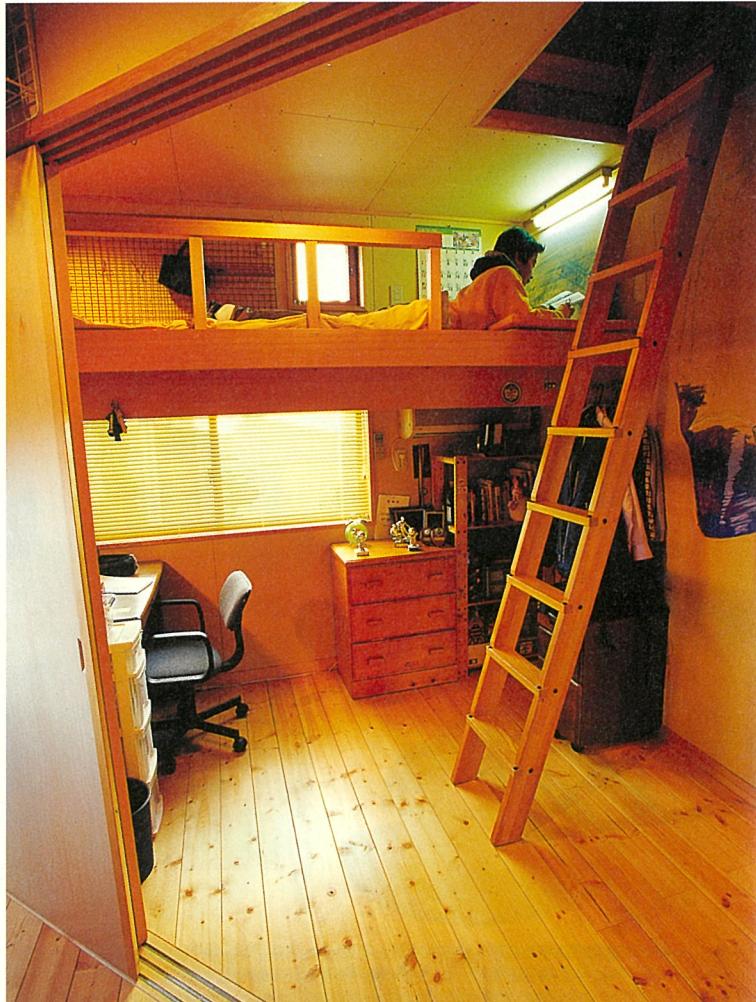




四角いスペースをそれぞれ三角形になるように2等分した子供部屋。柱の向こう側の引戸で仕切っている。ひとりが将来家を出たときには、外してひとつの部屋にできることを考慮してプランニングしている。



勇太朗くんの部屋。音楽を聴いたりギターの練習をするときに、隣にいる弟や親に気を遣うようになった。



洋助くんの部屋。ベッドの脇に自分で工夫し、壁用のラックを取りつけた。収納スペース不足を補っている。